

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和 3年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月))

施設名	五日市ファインプラザ	指定管理者	シンコースポーツ株式会社
指定期間	平成31年4月1日から 令和6年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	334	302	90.4%	
	延べ利用者数 (人)	195,000	89,528	45.9%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	225	0	0%
		自主事業 (回)	1,400	57	4.1%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	102,156,620	102,156,620	100.0%
		利用料金収入(売上) (円)	23,716,500	8,057,520	34.0%
		自主事業収入 (円)	17,237,500	1,307,953	7.6%
		その他の収入 (円)	300,000	14,442,000	4814.0%
	収入計 (円) …①		143,410,620	125,964,093	87.8%
	支出	人件費 (円)	59,878,500	60,427,816	100.9%
		維持管理経費 (円)	66,463,559	61,776,544	92.9%
		自主事業関係経費 (円)	13,794,253	1,799,595	13.0%
		その他の支出 (円)	0	0	0%
	支出計 (円) …②		140,136,312	124,003,955	88.5%
	収支 (①-②) (円) …③		3,274,308	1,960,138	59.9%
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-%
総収支 (③-④) (円)		3,274,308	1,960,138	59.9%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b></p> <p>○開館日数 4月～5月は、緊急事態宣言のため、合計で34日間の臨時休館が発生しました。</p> <p>○利用者数 個人利用者数 37,311人(前年26,094人)、団体利用者数 52,217人(前年40,871人)で合計89,528人(前年66,965人)であり、前年度比較で133.7%の増加となりましたが、年間計画比較では、45.9%(前年34.3%)となります。 感染予防対策の見直し、規制緩和が増加の要因となります。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b></p> <p>○必須事業 今年度の週間、年間の必須事業等はすべて中止になりました。</p> <p>○自主事業 11月より都度払い教室を再開し、57回実施しました。 感染症対策を徹底し、マスクなどの販売を引き続き実施しました。また、地場産のさつまいもを使用し、焼き芋の販売を行いました。</p>	<p><b>【収支状況について】</b></p> <p>○収入 利用料収入は、年間計画に対し34.0%、自主事業収入は7.6%となりました。</p> <p>○支出 維持管理費、自主事業関連については、新型コロナウイルス感染予防対策による時短閉館等もあり、計画内に抑えることが出来ました。 ※物販、教室等は、自主事業収入および自主事業関係経費に含まれています。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

所管課の評価（指摘事項）		
<p>【開館日数・利用者数について】</p> <p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた中での開館であったが、利用人数は前年度と比較して増加傾向にあるため、引き続き利用者の安全確保を図りながら運営を行ってください。</p>	<p>【事業の実施状況について】</p> <p>事業については、新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、安全に配慮しながら実施方法を工夫するなどして、再開に向けた取組を進めてください。</p>	<p>【収支状況について】</p> <p>収入については、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や時短開館が生じたため減少している。支出については、燃料費の高騰により、維持管理費の一部に増加傾向が見られるため、社会情勢を注視しながら、引き続き経費削減に努めてください。</p>

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	9人 人員配置計画、実地、出勤簿	9人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数 12回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	60% 人員配置計画	64.3% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善

個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>総利用者数については、4月から5月の臨時休館、自主事業の中止などを引き続き行いましたが、年度末にかけて徐々に規制緩和されたこともあり、前年よりも増加しました。</p> <p>自主事業教室については、一部を11月から再開しましたが、1月から2月にかけてのまん延防止措置期間により、再び中止となりました。託児教室は、感染防止対策の観点から、全て中止となりました。</p> <p>収入面で、計画を達成することができませんでした。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策により利用制限などの減収があったためと考えられます。</p> <p>支出面では、総支出額は計画の88.5%となりました。</p> <p>新型コロナ対策としての規制を続けたことで、感染者発生による休館は避けることができました。</p> <p>次年度は、規制緩和をしながら、コロナ禍以前の利用者数に近づけていくことを目標に運営していくこととなります。緩和のタイミングを見誤らずに、通常営業に戻しながら、引き続き新型コロナ対策を行うことで、利用者の方に安全に利用していただけるよう細心の注意を払って運営を行っていきたいと考えております。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開館となったため、対計画比率は低調な数値となりました。しかしながら、状況に応じ、安全対策を講じながら自主事業を一部再開するなど、利用機会を創出する努力も見られ、利用者が安心して活動出来るよう運営が行われています。引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、事業再開及び参加者増加に繋がる取組を進めてください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症をはじめ、燃料費の高騰という社会情勢の変化が見られていますので、引き続き経費削減に努めてください。</p>